

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎市街地整備の経費

市街地整備運営事業

再開発課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されている

まち

【事業の目的】

対象 大船駅周辺整備事務所(拠点整備部)

意図 部内の庶務及び施設の維持管理を行うため。

効果 事務事業の進行管理、連絡調整及び適切な施設管理を行うことにより、良好な職場環境の確保を図る。

【事業の内容】

(1) 市街地整備運営事業

- ・ 部内の予算要求、執行管理、予算・決算・監査に関する事項を行った。
- ・ 施設の適正な維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,471	4,249	3,880		369
主な支出内訳				
・ 市街地整備運営事業				
一般文具等消耗品費				242
車両燃料費				192
食糧費				0
光熱水費				838
維持修繕料				77
備品修繕料				0
車両修繕料				152
電信料				591
消防設備点検手数料				15
火災等保険料				99
警備業務委託料				197
清掃業務委託料				159
FAX・コピー複合機保守点検業務委託料				318
NHK放送受信料				26
FAX・コピー複合機購入費				767
プロジェクター購入費				189
自動車重量税				18

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 拠点整備総務課長(次長)を含め3名により、大船駅東口市街地再開発事業特別会計及び一般会計(都市計画総務費)の経理事務、部内4課の庶務を行い、部内の事務事業の円滑な実施に努めたところであるが、部内各事業の進捗状況に合わせて、人員配置の再検討による対応が必要となった。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 大船駅周辺整備事業の推進状況を勘案し、7月に拠点整備総務課の職員1名を大船駅周辺整備課との兼務職としたことで、当面の事業停滞を回避した。更に、事務事業の効率性を考え、平成21年度には拠点整備総務課と再開発課との統合を機に所内各課の人員配置を見直し、各事業の進捗を促すこととした。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 無し
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	所内会議及び各課報告会を開催することで、部内・関連課との調整、情報交換を行い、部内の事務事業を円滑に実施しており、現在の状況を恒久的なものとする必要がある。 引き続き定例的に部内会議、各課報告会を実施し、課題把握や情報の共有化を図るとともに、随時適切な目標設定を行うことにより事業推進を図る。				
担当課長氏名:		川村 裕伸			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	現状の方向性を維持しつつ、効率的、効果的な事務執行を行う。				
担当部名	拠点整備部	部長名	瀧澤 由人		